

## 会 議 録

### 1 会議名

令和3年度第2回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 協議事項（公開）

##### ① 地域活動支援事業の審査（ヒアリング等）

- ・ 提案状況と進め方の説明
- ・ 課題の共有と質問事項の整理（その1 班別審議）
- ・ 課題の共有と質問事項の整理（その2 全体審議）
- ・ ヒアリング

### 3 開催日時

令和3年5月18日（火）午後5時から午後7時50分まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、金井 正、佐藤三男、杉田榮作、千町健実、高野ゆかり、塚田仁子（副会長）、船崎 聡（会長）、三浦正郎、横山明夫（欠席2名）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター：小林センター長、藤井係長、山崎主事

### 8 発言の内容

#### 【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

**【船崎会長】**

- ・会議録の確認者：塚田副会長

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業の審査（ヒアリング等）」に入る。

最初に「・提案状況と進め方の説明」について、事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・次第、参考資料（実施のご案内）を用いて説明

**【船崎会長】**

今の説明に質疑を求める。

（発言なし）

以上で「・提案状況と進め方の説明」を終了する。

これより「・課題の共有と質問事項の整理（その 1 班別審議）」に入る。それぞれ班別審議を始めてほしい。

— 班別審議（40 分間） —

会議を再開する。

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業の審査（ヒアリング等）」の「・課題の共有と質問事項の整理について（その 2 全体審議）」に入る。

1 班の発表を願う。

**【井澤委員】**

「新-1」については、どのようなメンバーで、どのような活動をしているのかが分からず、また方向性も分からないことが多い。構成員数の 620 人についても、どこから出てきた人数なのかも教えて欲しいとの質問があった。また中身についても、詳しく説明していただかなければ分からないことが多すぎるため、どう対応してよいのか分からない。

次に「新-2」については、トラブルや事故があった場合にどう対応するのか、道具の保管場所や今後の点検方法はどうかを考えているのか、命を預かる事業であるため保険はどうなっているのかを聞きたいとの意見が出た。また参加定員の予定人数である 10 人を超えた場合はどのように決めるのかとの質問もあった。

次に「新-3」については、保守管理等をしっかりとってもらいたいとの意見が出た。

「新-4」については、このコロナ禍の状況の中で本当に実施するのか。実施しないのであれば必要なのか、また、安全対策はどうなっているのかとの質問があった。

「新-5」については、合併に伴い今後の人員確保はどうしていくのか。また構成員数が43人と記載されているのだが、この人数には保護者も含まれているのかを聞きたいとの質問があった。

「新-6」については、これまではテーブルがなかったため必要として買うのか。それとも壊れたため新たに購入を希望しているのか、との質問が出た。

#### 【船崎会長】

次に2班の発表を願う。

#### 【横山委員】

特に指摘が多かった3事業についてのみ取り上げて簡単に発表する。

まず1つ目は「新-1」についてである。これは新道地区で新規に立ち上げたいとの組織のようであるが、不明な点がいくつか指摘された。1点目は団体代表者の所在や組織の実態が提案書からは、なかなか見えてこないということである。また、事業費は主に人を集めるために使用されるように読み取ることができるため、このようなところに事業費を充ててよいのか否かとの不安な点が指摘された。

2つ目は「新-2」についてである。団体の活動拠点に上越妙高地区も含まれている。活動計画として、上越妙高地区も含めてどのような活動をするのか、その辺りの内容が見えてこないため、もう少しはっきりさせてほしいと発言があった。

3つ目は「新-4」である。またここに来て新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るってきている状況の中で、大勢の人を集めて計画どおりに事業が実施できるのか、とても不安であるとの意見があった。さらに、コロナ禍で上越市から開催許可が下りるのか否か、不安材料があるとの発言もあった。

#### 【船崎会長】

これより意見交換を行う。

提案書を見て、思うことや発表内容に質問等あれば、発言を求める。

#### 【杉田委員】

班別審議の中で発言したのだが、班の発表には入っていなかったことである。

「新-5」の幼年野球の合併チームは、新道区と津有区の2区での提案となっているが、各区の補助金の負担はどのようなになっているのか。

**【船崎会長】**

この事業の提案書の「2 事業の概要」の「事業費等」に、それぞれの負担額が記載されている。予算分配は新道区が3分の2、津有区が3分の1である。

自分も2班の班別審議の中で話をしたのだが、「新-1」「新-2」については、まだ団体ができていないため何とも言えず、多分、ヒアリングもだいぶ時間がかかると思っている。また質問についても、まとめようと思ってもなかなかまとまらない気もする。疑問点があれば、提案団体の説明終了後の質問等で、各委員よりどんどん出してほしいと思う。

「新-1」と「新-2」の2つの事業については、これから団体を作ることであるため、果たして新道地区の予算を使って行って大丈夫なのかといった疑問も出てくる。またヒアリングの際によく考えて判断してほしいと思う。

**【佐藤委員】**

「新-1」については、設立年月を見ると、平成27年となっている。設立から5年ほど活動しているはずである。

**【船崎会長】**

「新-1」の提案団体である「上越若者みらい会議」は設立から5年ほど経過しているが、ただ今回提案されている事業は、「上越若者みらい会議」ではなく、「新道区U-40社会人サークル立上げ事業」となっている。要するに、新道地区に社会人サークルを立上げるための予算ということであり、まだ立ち上がってはいないのだと思う。

**【佐藤委員】**

「U-40社会人サークル」自体の規約はまだないということか。

**【船崎会長】**

まだ規約はないのだと思うが、そういった点も含めて、全く分からない。人数についても、「新道地区が何人」とは記載されていない。

**【佐藤委員】**

新道地区では初めてであるが、これまでの実績等をやはり聞いてみたい。

**【船崎会長】**

例えば、令和元年に金谷地区でも社会人サークルを立上げているようだが、その際にも金谷区の地域活動支援事業費補助金を使用して事業を行っているのかも知りたい。

今年の2月にも安塚区で社会人サークルを立上げているため、昨年度の地域活動支

援事業から予算を確保したのか、自分の記憶ではそのような事業があったような記憶はない。

**【秋山委員】**

総合的に実態がよく分からない。

**【船崎会長】**

この場で議論していてもよく分からないため、各自、疑問に思ったことを事業説明後の質問で確認してほしいと思う。

「新-2」についても同様に、まだ立ち上がってはいない。また予定している定員数がなぜ10人なのかも分からない。いろいろ疑問な点はある。

他に何かあるか。

**【佐藤委員】**

「新-5」の幼年野球合併チームについてである。先ほど、2区での予算配分についての発言をしたのだが、もし採択された場合、どちらの地区の団体になるのか疑問である。

**【船崎会長】**

疑問な点は、直接、提案団体に質問してほしい。

**【佐藤委員】**

また、人数が増えることに対するメリットとデメリットについて、どのように考えているのかを確認したいと思っている。要するに、子どもたちの健全育成が目的であるため、マイナス方向にいかなければよいと思っている。すべてがプラスにいけばよいと思う。そういったことを聞いてみたい。

**【船崎会長】**

小学校が3つであるため、学校区が違う。そのため、どのようなかたちになるのか分からない。

全体を通して他に何か疑問等あるか。

**【秋山委員】**

「新-2」についてであるが、入会金5,000円、1回の利用料が1,500円となっているが、年会費等はあるのか確認したい。

また、購入を予定している道具も、高額なものが多いような気がする。

また、「野外活動体験参加費」が「1家族2,000円」となっているが、例えば、子ども

もが2人でも3人でも金額は変わらないのかも聞いてみたい。

**【船崎会長】**

入会金であるため、年会費はないような気がする。入会金を5,000円徴収し、1回の運動教室に参加する参加料が1,500円なのだと思う。もし疑問であれば、提案団体に直接聞いてほしいと思う。

**【金井委員】**

入会金や1回ごとの利用料を徴収するのであれば、営利団体のように思える。地域活動支援事業の目的に合致するのかが疑問である。利益を求めるのであれば、営利団体ということになる。地域活性化につながるのか、また整合性が取れるのかが疑問である。

**【船崎会長】**

自分もよく分からないのだが、自主財源が10万円となっている。この自主財源が、入会金と使用料等を集めた金額であり、今後の活動に充てるということだと思う。

また、使用する道具に60万円ほどかかるようだが、このような道具は、当然、使用料等からは捻出できないため、地域活動支援事業に提案を出したのと思う。

使用料1,500円はよく分からないが、多分、会場使用料のように思う。

**【金井委員】**

公共性を考えたときに、このような事業を支援することはどうなのかが分からない。こういったことは、直接、提案団体に質問をしても答えは出ないように思う。もしも、営利団体だということになれば、当然採択することは難しいと思う。

**【船崎会長】**

営利団体であった場合、当然認めることはできない。

よく分からないことは、「1期生：定員10人」とあり、これから参加者を集めていくのと思う。

活動拠点が「新道地区のみ」であれば、参加者は「新道地区の子どもだけ」ということになると思う。しかし「上越妙高地区全域」となると、新道地区以外からも参加する子どもたちを集めて活動することになるのか否かが気になる。

また、提案書に活動拠点として記載されている「関川東部会館」は藤野新田にあるらしいのだが、活動場所がそこだけではないようであるため、どういうものなのかよく分からない。

そういった部分を提案者に質問で確認したほうがよいかもわからない。

**【金井委員】**

公益性の問題、必要性は別としても、実現性・参加性は人間を募っているため、どうなのかとの疑問がある。

**【船崎会長】**

1 番のネックは、やはり入会金だと思う。入会金を徴収するという事は、ある程度、営利的な部分もあると思う。

**【藤井係長】**

今ほど営利・非営利の話が出たが、基本的な考え方として、この事業で収益が発生し、獲得した収益を社員なり株主なりに分配することが、一般的には営利活動・営利企業だと思っている。そして、収益があったとしても、その収益を目的の事業にすべて注ぎ込むのであれば、営利ではないと考える。目的の事業に「公益的な目的」があるか否かが 1 番大事かと思っている。そのため、提案書の収支のとおり、入ってきた財源はすべて 1 年間の活動に充てるのであれば、利益が出ているわけではなく、実際に活動自体に公共的な利益があり、新道区の課題解決・活力向上に結びつくのであれば、採択となってもよいかとは思っている。

結び付くか否かの 1 つの基準としては、審査における採点票の「共通審査基準」の中に、例えば、「公益性」の基準が記載されている。そういった基準を参考にして、総合的にどのような活動になりそうかといったところを見定めていくしかないと思っている。

**【金井委員】**

慎重に判断しなければならないと思う。

**【船崎会長】**

特に「新-1」と「新-2」は慎重に見定めなければならないように思う。

「新-1」については、提案書の収支計画を見ると自主財源が 3 万円となっているのだが、これは「参加料 1,000 円×10 人×3 日間」との説明書きがある。だが、この「10 人」がどこから出てきた数字なのか分からない。10 人だけで終わりなのか否かも分からない。

「新-1」「新-2」については、たくさんの疑問があると思う。ヒアリングにて提案者に直接、疑問点や確認したいこと等を質問してほしいと思う。

他に何かあるか。

(発言なし)

以上で意見交換を終了する。

－ 休憩 －

**【船崎会長】**

会議を再開する。

議題 2 次第「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業の審査（ヒアリング等）」の「・ヒアリング」に入る。

**【藤井係長】**

・「新-1 新道区U-40 社会人サークル立上げ事業」の紹介

**【新-1 提案者】**

・事業説明

**【船崎会長】**

「新-1」について質疑を求める。

**【横山委員】**

提案書には、上映会として3本のドキュメンタリー映画の上映スケジュールが記載されている。上映会終了後は、具体的にどのような活動を計画しているのか。

**【新-1 提案者】**

上映会を通じて活動メンバーが徐々に増えてくると考えている。その集まってきた人たちでグループラインを作成し、今後、新道区がより盛り上がるようなアイデアや企画を出し合い、新道区に住む若い人たちの「やってみたい」「あったらよい」をかたちにしていきたいと考えている。今はまだ、このようなざっくりとした感じなのだが、集まったメンバーでこれから考えていければと考えている。

**【横山委員】**

実態を見ながら具体的な内容を考えていくということか。

**【新-1 提案者】**

そうである。

今年度については、上映会を通じてメンバー集めを行い、雑談の中で「こんなことをやってみたい」というものが出てくると思っている。来年度に向けてもそうであるが、手軽にできるイベントであれば、随時実行していきたいと考えている。実施する



際には、地域協議会にも報告できればよいと考えている。

**【金井委員】**

提案書の「2 事業の概要」の「(2) 事業の目的及び期待する効果」の中で、目的としては、「昔ながらの青年団の復活」とあり、それに対する「期待する効果」として、「食育を通じて健康意識を高め・・・」とあるが、繋がりがよく分からない。

次に壮大な目標に対して、食育の話がイメージの中で結びつかない。なぜと思う部分がある。

**【新-1 提案者】**

自分たちも食育の上映会は初の試みである。

他の区では、実際に地域課題の解決に向けて会議を行っていた。だが、やはり会議となるとなかなか若者が集まらなかった。そのため、今回は実際に新道区在住のメンバーが希望した上映会をまずはやってみようということになった。実際に新道区に住んでいるメンバーもあり、上映会にも来てくれると思う。その中で、今後は他ジャンルのイベントや地域活性化の活動等をしていく予定である。

**【金井委員】**

団体として、目標や目的をどのように検証するつもりなのか。さらに、来年以降も食育に関する活動を続行していくのか。事業タイトルと実際に行っている活動が、自分の中でどうしても結びつかない。

**【新-1 提案者】**

まずはきっかけとして、今回は食育をテーマに行うのだが、今後も食育だけにテーマを絞って活動していくわけではない。いろいろなジャンルに広げていく予定である。

まず今回は、新道区の若い人たちに集ってもらい、その後、壮大なテーマに向かってアイデアを出して実行していこうと考えている。

**【千町委員】**

今年度、新道区で事業が採択された場合、希望している約 30 万円の補助金が支援されることになるのだが、来年度以降は自主財源だけで賄っていくつもりなのか。

**【新-1 提案者】**

若い人たちが「やりたい」と思うイベントに応じて考えていきたいと思っている。どのようなイベントを行うのかにもよる。

例えば今回、金谷区でフリーマーケットを今月末に予定している。そのように、自

分たちで活動費を準備できるような企画を予定しており、新道区でも同様に考えている。

**【千町委員】**

収支計画の中で「参加費 1,000 円×10 人」と記載されているが、どのくらいの参加があるのかは分からない。予定して人数が集まらなかった場合はどうするのか。

**【新-1 提案者】**

まだ具体的には決めておらず、集まったメンバーによって今後考えていこうと思っている。現在、他の区で行っている活動としては、週に 1 回スポーツ会等を行っており、参加費 500 円を徴収して、活動の財源としている。最初のメンバー集めが 1 番たいへんであったため、最初は、「新道区で社会人サークルが立ち上がる」「新道区で若い人たちが面白いことを行っている」ということを知ってもらうために、宣伝広告費の支援を希望している次第である。

**【船崎会長】**

最後に自分から 2 つ質問である。

1 つ目。各町内には町内会があり、青年会や子供会等がある。そういったものとの兼ね合いがどのようになっているのかが分からない。

2 つ目。今回、提案された事業は、あくまでも立上げ費用だけである。先ほども話が出たのだが、続けていく場合には予算がかかると思う。そういった財源については考えているのか。

**【新-1 提案者】**

1 つ目の質問についてである。

第 2 回目の上映より、各町内会で回覧板にチラシを入れてもらう予定である。チラシを見て興味を持った人たちから上映会に参加してもらえと思うのだが、現在はまだ、青年会や保護者たちとの繋がりはない。新道区に住むメンバーの子どもたちがまだ小さく、保育園等の繋がりはあるのだが、小学校の繋がりはない状態である。

2 つ目の財源に関しては、先ほども発言したとおり、自分たちの活動は自分たちで行っていけるようなイベント等を企画していく予定である。

**【船崎会長】**

以上でヒアリングを終了する。

— 新-1 提案者退席 —

【藤井係長】

- ・「新-2 子どもの運動教室事業」の紹介

【新-2 提案者】

- ・事業説明

【船崎会長】

「新-2」について質疑を求める。

【佐藤委員】

2点ほど確認したい。

1つ目は構成員の数についてである。「構成員数」が5人となっているが、これは運営する人たちの人数なのか。

【新-2 提案者】

運営というところのどの部分のことか。実際に子どもたちと運動に携わるとの意味合いの捉え方でよいか。

【佐藤委員】

5人はどういう人たちなのか。

【新-2 提案者】

5人の中には、事務担当者等、直接運動を指導することに関わるメンバー以外も含まれており、それらすべてを含めて5人である。

【佐藤委員】

その5人のメンバーで団体を運営しているとの解釈でよいか。

【新-2 提案者】

そうである。

【佐藤委員】

それはボランティアなのか。

【新-2 提案者】

事業性はない。

【佐藤委員】

次に活動拠点についてである。

提案書では「関川東部会館及び上越妙高地区全域」となっているが、この意味合いを教えてほしい。

**【新-2 提案者】**

関川東部会館については、自分の町内にあり、夏には納涼会等で町内会にて使用している場所であるが、あまり認知されていないということが、自分が住んできて感じた印象である。そのため、その場所をもっと活性化させたいとの思いがあり、活動拠点を関川東部会館に設けた。

妙高地区、他の上越地区でも、運動だけではなく、子どもたちのコミュニティの場として、付随的に運営していきたいと思っている。最近のコロナ禍の状況において、室内のみの活動に限定されていたり、仲間との触れ合いが非常に少ないように思う。

自分は毎日、保護者と接しているのだが、やはり保護者でも上越地区にいろいろな素晴らしい自然や環境があるにも関わらず、なかなか出向かない人が多い。なぜかというところ、上越は家族単体では動かない人が多いためである。そのため、「家族の集まり・集い」というコミュニティを設けることによって、出向く、そして地域が活性化する、子どもたちもよりよくなるということがねらいである。

「妙高地区」と記載した理由としては、自然で言うと、上越地区よりも妙高地区のほうが圧倒的に自然の数は多い。自分もよく行くのだが、やはりそういったところにも出向き、距離を設ければ設けるほど、人は体感レベルが違ってくる。そのため、妙高地区等にも出向いて、自然体験をしていきたいと考えている。

**【佐藤委員】**

「関川東部会館」はどこの町内にあるのか。

**【新-2 提案者】**

藤野新田である。

**【佐藤委員】**

確認なのだが、新道地区の子どもたちを対象として、このような活動を行いたいということか。

**【新-2 提案者】**

新道地区の子どもたちが対象である。

新道地区でのニーズが、正直、どこまであるのかは、実際に体験会等を運営してみなければ分からないところがある。

自分の保育園の例であるが、会社従業員の子どもの定員が 50 パーセント、地域の受け入れも 50 パーセントというルールで運営している。

事業を実施・運営した段階で、余りにも新道地区からの需要がない場合には、もしかすると他の地域から、定員区分を設けて運営していくかもしれない。

**【飯塚副会長】**

事業を運営していて、もしも事故等があった場合のことを考慮し、保険等の用意はあるのか。

**【新-2 提案者】**

スポーツ振興センターの無過失の保険がある。その保険に全員加入することを必須としている。

**【飯塚副会長】**

対象者を小学3年生までとしている意味を教えてください。

**【新-2 提案者】**

教育界でいう1番大事な時期というか、運動能力は5歳までに決まると言われている。これは科学的にというか、すべてはデータに基づいたことである。

その他、年齢を制限している理由として、能力差の問題である。例えば、小学校1年生と小学校6年生が定員10人の中に入っていた場合、やはり能力差が大きい。1年生にレベルを合わせた場合、やはり6年生には物足りないことになってしまう。そのため、3歳児から小学3年生ぐらいまでであれば、できるだけ同じレベルで活動ができると考えている。

**【飯塚副会長】**

関川東部会館の所有者は誰か。

**【新-2 提案者】**

所有者については確認不足である。

**【飯塚副会長】**

会館の運営はどこか。

**【新-2 提案者】**

会館の運営は、「関川東部まちづくりセンター」が行っている。

**【飯塚副会長】**

今回、購入を希望している道具の保管場所については、どのように考えているのか。

**【新-2 提案者】**

関川東部会館に保管する予定である。

**【飯塚副会長】**

関川東部会館の許可は得ているのか。

**【新-2 提案者】**

道具の保管場所の許可はまだ得ていないのだが、活動場所の許可は得ている。

**【横山委員】**

団体設立後、課題はあるか。

**【新-2 提案者】**

まだ運動事業についてはスタートしていないため、あくまでも自分の教育・保育士としての立場からの観点になるのだが、「子どもたちの運動能力の低下」と「心の自己肯定感の低下」というものが非常に見られる。そこを専門家として、新道区の子どもたちを中心に何とか改善できないものかとの想いで事業を立ち上げようと考えた。

**【横山委員】**

先ほど、新道区以外の子どもたちも含めるかもしれないとの話があったのだが、できることであれば、新道区内で工夫をして活動してほしいと思っている。

**【新-2 提案者】**

それは大前提に考えている。

**【船崎会長】**

最後に自分より質問である。

1期生の定員を10人としているが、10人を集めることに問題はないということか。

**【新-2 提案者】**

多分、定員の10人はすぐに集まると思う。そのため、10人以上の応募が来た際には午前・午後に各2回と分けて実施することも検討中である。正直言って、運動教室の需要はかなりある。

また新道地区は上越市内でいうと、高田と直江津の中心である。現在、大潟区と新井寄りに体操教室があるのだが、中心街に運動教室はない。

自分はこれまでに何百人という保護者と関わってきたのだが、この中心部に運動ができる場所が欲しい、運動を指導してくれる人たちが必要といった声が多く聞かれた。そのため需要は間違いなくあると思う。

**【船崎会長】**

以上でヒアリングを終了する。

－ 新-2 提案者退席 －

「新-3」は鴨島一丁目を代表して自分がヒアリングを行う。については、ヒアリングの間は会議を退席するため、飯塚副会長より議長を願ってもよいか。

(よしの声)

飯塚副会長より議長を願う。

**【藤井係長】**

・「新-3 鴨島一丁目町内会自主防災支援事業」の紹介

**【新-3 提案者】**

・事業説明

**【飯塚副会長】**

「新-3」について質疑を求める。

**【秋山委員】**

防災用投光器セットが2器、発電機1台の購入を希望しているのだが、この数量で足りるのか。

**【新-3 提案者】**

足りるか否かは、実際に防災訓練等に使用してみなければ分からないのだが、とりあえず、防災用投光器は2器購入したいと思っている。また発電機については、町内会ですでに1台は所有している。

購入を希望している投光器は、60ワットのライトが1器に2つ付いている。そのため、コンセントが2つ必要になると思うのだが、すでに町内会で発電機を1台所有しているため、追加で1台購入することができれば十分に賄えると考えている。もう少し必要となった場合には、町内会で何とかしなければならないと思うのだが、今すぐには難しい。

また、通常の投光器は重いため持ち運びができない。だが、今回購入を希望している投光器は持ち運び可能な軽量のものである。1器が全部で120ワット程度であり、夜間でもある程度の明るさが保てると思っている。

**【飯塚副会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

－ 新-3 提案者退席 －

ここからの議長は、再び船崎会長より願う。

【藤井係長】

・「新-4 盆踊りを通し地域活性化と交流促進事業」の紹介

【新-4 提案者】

・事業説明

【船崎会長】

「新-4」について質疑を求める。

(発言なし)

自分から質問である。

現在のコロナ禍の状況でも事業を開催したいとの気持ちは理解できるのだが、一応、市に相談をしていると思う。その際、どのような回答があったのか教えてほしい。

【新-4 提案者】

これは町内会の事業であり、どのように開催するのかについて、日々刻々と状況が変わるため市でも明確な答えが出ていない。

町内会としても、町民・住民の健康・安全・安心を最優先で考えている。準備を万全にしても、状況によっては最終的には中止となることも考えられる。そこに至るまでは準備を進めており、このようなイベントは準備がとても大事である。次につながるステップになると思っている。

【佐藤委員】

準備だけは進めるとの話であったが、新型コロナウイルスの影響により事業が実施できなかった場合でも、購入を希望している備品等は購入するのか。

【新-4 提案者】

事業が実施できなくなったとしても、備品は購入する予定である。

先ほども話したのだが、最終的なジャッジとしては、町民の安全・安心・健康を守ることを大前提で考えて進める予定である。

【佐藤委員】

事務局に確認である。

事業を実施する前提での提案だと思うのだが、もし実施できない場合でも審査を行うのか。



**【藤井係長】**

新型コロナウイルスの影響以外にも、これまでの経過の中で、やむを得ない事情で事業が実施できないことがあった。そういったときは、例えば、目的を達成するために何か別の手段はないのかを様々な団体に考えてもらっていた。

実施できないことが明白というわけではなく、実施できる可能性があるということであれば、審査をして採択することも可能であると考えている。

**【船崎会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

－ 新-4 提案者退席 －

**【藤井係長】**

・「新-5 幼年野球合併チーム活性化事業」の紹介

**【新-5 提案者】**

・事業説明

**【船崎会長】**

「新-5」について質疑を求める。

**【佐藤委員】**

各チームの構成員についてである。イーストユニティーズが43人、富岡レッドファイヤーズが42人、戸野目スポーツ少年団が39人となっているが、このうちの子どもの人数を教えてほしい。

**【新-5 提案者】**

現在、イーストユニティーズが13人、富岡レッドファイヤーズが11人、戸野目スポーツ少年団が11人か12人であったと思う。

**【佐藤委員】**

全員で約30人ということか。

**【新-5 提案者】**

そうである。

**【佐藤委員】**

それ以外的人数は、保護者やスタッフということか。

**【新-5 提案者】**

スタッフと保護者会を含めた人数である。

**【佐藤委員】**

これまでは各チーム 10 人ほどで活動してきたが、合併することにより 30 数人となる。人数が多くなればよいというものでもないと思うのだが、多くなることのメリット、デメリット等はあるか。

**【新-5 提案者】**

現状では合併すると 33 人ほどになるのだが、今の 6 年生が抜けてしまうと 21 人ほどになってしまう。実際、各チームで大会には出られない状態になってしまっている。そのため、メリットとしては大会に出ることができることである。

**【佐藤委員】**

現在は 6 年生が多いということか。

**【新-5 提案者】**

そうである。

新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度は下の学年の子どもたちの入団が少なかったため、どこのチームも苦しい状況となっている。上越学童野球連盟に所属しているチームが昨年は 32 チームあったのだが、今は 24 チームに減ってしまった。今年は自分たちのチームも合併するため、さらにチーム数が減ることになる。どこのチームでも合併が進んでいる状況である。

**【佐藤委員】**

現在はそれぞれの小学校で練習等を行っていると思うのだが、合併後の拠点はどこになるのか。

**【新-5 提案者】**

合併後の拠点は一応、稲田小学校で考えている。理事を新道地区から出し、新道地区のチームとして活動したいと考えている。

**【佐藤委員】**

他チームの了解は得ているのか。

**【新-5 提案者】**

新道地区に拠点を置くことの了解は得て、話を進めている。

**【船崎会長】**

自分からもいくつか質問である。

1つ目。提案書の「(4) 事業の内容及び実施方法」に記載されている「活動内容」についてである。5月中旬ごろから週1回、藤野球場で夜の6時から8時に合同練習としているが、移動手段はどのように考えているのか。

**【新-5 提案者】**

富岡レッドファイヤーズで練習用にグラウンドを予約している。もともと、イーストユニティーズや戸野目スポーツ少年団が合同練習で使用しており、基本的に強制参加ではなく、自由参加としていた。時間も夜6時からであるため、やはり来られない家庭もある。だが、今回は合同練習としたいため、来られる人が子どもだけ連れてくるようにしたいと思っている。必ず保護者が送迎することで考えている。

**【井澤委員】**

3チームが合併するため小学校が別々となる。今後、メンバーが減っていくに当たって、人員確保が非常に難しくなってくると思うのだが、何か考えていることはあるか。

**【新-5 提案者】**

イーストユニティーズでは毎年、定期的にチームに入っていない子どもたちを誘って、遊び感覚で野球を教える、柔らかいボールを使用したティーボールという競技を行う等の体験教室を開催している。そういった活動の中から、入団してくれる子どもがいればよいと思っている。

だが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により人が集まる場をなかなか作ることが難しく、野球体験教室もほとんどできていない状態だった。

今後については、5月15日に学童野球連盟主催で低学年やチームに入っていない子どもを対象としたティーボール大会がある。イーストユニティーズではチーム外の子どものにも声かけを行い参加予定である。また富岡レッドファイヤーズと戸野目スポーツ少年団も参加予定である。そういった活動を利用して、新規団員を集めていきたいと思っている。

**【金井委員】**

直近の会計収支決算が、収入と支出で3割程度の差があるのだが、これはやはり新型コロナウイルスの影響もあるのか。

**【新-5 提案者】**

正直、そういった理由もある。昨年度は新型コロナウイルスの影響により、大会も少なくなったこともある。当団体イーストユニティーズだけで見ても、予算が結構余っている。例年はこれほど余ることはない。ただ、12月31日が決算の締めとなっており、年度末の3月に6総会を行ったため、そこでも予算を使用している。

**【金井委員】**

今回、新道区と津有区の2区で提案をしているが、もしも津有区で不採択となった場合や、新道区で大幅に減額となった場合にはどうするのか。

**【新-5 提案者】**

そういったことは正直、考えていなかった。だが、不採択や減額となれば仕方がないことであるため、やはり各保護者より負担してもらい、またはOB等に頼めるのであれば支援を求める等の対応をしたいと思うのだが、そういったことはこれから考えたいと思う。

**【船崎会長】**

時間となったためヒアリングを終了する。

— 新-5 提案者退席 —

**【藤井係長】**

- ・「新-6 かも子会館を使用する地域交流促進事業」の紹介

**【新-6 提案者】**

- ・事業説明

**【船崎会長】**

「新-6」について質疑を求める。

**【秋山委員】**

効果について質問である。提案書に「お年寄りまで幅広い交流施設」とあるが、かも子会館にはテーブルといっても折り畳みの低いテーブルしかない。高齢者が座ることが困難ということも含めて、希望しているようなテーブルが必要だということか。

**【新-6 提案者】**

かも子会館の利用者がだんだん高齢化しており、床に座ることが困難になってきている人も多い。そのため、テーブルと椅子を新調して楽に利用して交流を進めてもらえる環境を整えていきたいと考えている。

**【船崎会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

自分からも質問である。

幕板なしの会議用テーブル 10 台の購入を希望しているが、提案書に購入商品の写真等が添付されていない。これは折りたためるタイプのテーブルなのか。

**【新-6 提案者】**

折りたためるタイプのテーブルである。よくあるタイプのテーブルサイズであり、真ん中から半分に折りたたむタイプのテーブルである。

**【船崎会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

－ 新-6 提案者退席 －

全てのヒアリングが終了した。

では各自、自宅にて採点を行い、期日までに事務局へ提出願う。以上で議題 2 次第「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業の審査 (ヒアリング等)」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) その他」である。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

最後に、次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・ 次回の協議会：6 月 10 日 (木) 午後 6 時 30 分から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・ 内容：地域活動支援事業 審査、採択すべき事業の決定

**【船崎会長】**

最後に何かあるか。

(発言なし)

- ・ 会議の閉会を宣言

**9 問合せ先**

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。